

10月25日正午必着

明石春浦先生書

遠上寒山石徑斜
 白雲生處有人家
 停車坐愛楓林晚
 霜葉紅於二月花

ねぬいづるふり

遠上^{とちかくかんざだ}寒山^{のほればせきけいななめなり}石徑斜^{はくしんしよつすとこひんかあり}白雲生處^{くるまをどめてせうにあいすふうんのくれ}有^{そふはにがつのはなよりくれなひなり}人家^の停車坐^と愛楓林晚^{霜葉紅於二月花}（杜牧）

明石幸子書

性
 靜
 者
 多
 壽
 考

性^{せい}靜^{じやう}者^{もの}多^{にはじゅう}壽^{こう}考^{おし}（鮑照）考は老に同じ。心性の静かな者は長寿が多い。壽考は長壽。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

暮猿啼處三聲絶
寒雁歸時一葉秋
雁嶼時一葉秋
秋夕

三浦士岳先生書

暮猿啼處三聲絶。寒雁歸時一葉秋（崔致遠） 秋夕。

菊酒除不祥（風土記）

菊酒不祥を除う

菊酒は不祥をのぞく。菊酒：菊の花を漬けた酒。

雨添菊色迷三徑
風散花香入四鄰（劉敞）

雨菊色を添えて三徑に迷い
風は花香を散じて四鄰に入る

雨は三徑の間に去来して菊花の花を増し、風は四隣に吹き入って花の香を散らす。

夜宿龍吼灘思峨嵋隱者（岑參）

夜竜吼灘に宿して、峨嵋の隱者を思う

岑參

官舍臨江口灘聲已慣聞

官舍江口に臨み灘声已に聞くに慣う

水煙晴吐月山火夜燒雲

水煙晴れて月を吐き山火夜雲を焼く

且欲求方士無心戀史君

且く方士を求めんと欲す史君を恋うるに心無し

異鄉那可住況復久離羣

異郷那んぞ住す可き況んや復た久しく群を離るるをや

妻とふたり拓く畑の新土を鳴らすごとく秋風きたる

（鹿兒島壽藏）

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

家 夜
煙 入
楚 楚

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

夜入楚家煙

隸書

夜入楚家煙

明石春浦先生書

草書

夜入楚家煙

行草書

夜入楚家煙

夜になって、楚の家々の盛に煙たちのぼる地域にはいった。煙の中に、人々はまだ眠らずにいる。淮水の岸辺の眺望を極めつくし、舟中に坐したまま酒樓の前についた。灯火の影は半ば水を照らし、あたりの船の中からしきりに箏のしらべがきこえる。流れに乗って東をさして行こうとするが、この地を離れて行けば、たちまちに年月が過ぎることであろう。

夜泊淮陰 項斯

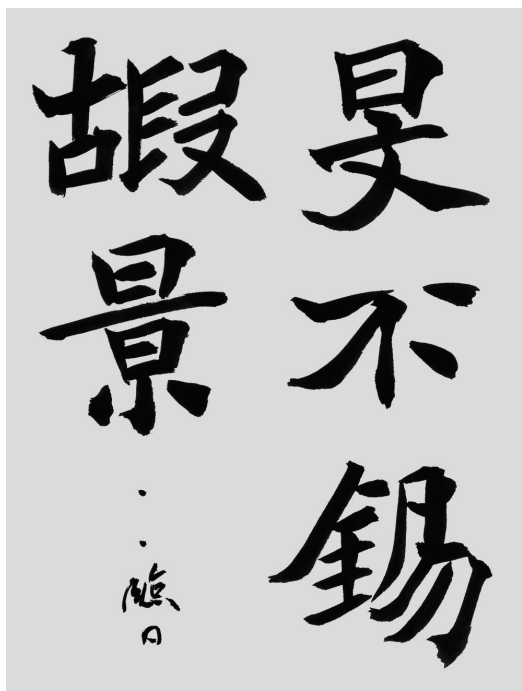
夜入楚家煙
煙中人未眠
望來淮岸盡
坐到酒樓前
燈影半臨水
箏聲多在船
乘流向東去
別此易經年

夜 淮陰に泊す 項斯

夜 楚家の煙に入る
煙中 人未だ眠らず
望み來つて 淮岸尽き
坐して到る 酒樓の前
燈影 半ば水に臨み
箏聲 多く船に在り
流れに乗じて東に向かつて
去る
此を別れて 年を経易からん

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

10月25日正午必着



景(びん)を錫(さいわい)わず、景(けい)儀(ぎ)隆(りゅう)傾(けい)す。

兩宮春聲先生臨書



北魏・元槓墓誌

墓誌は故人の姓名、経歴、行年、業績などを、後世に伝えるために石や銅板・磚などに記して墓に埋めたもので、中国では後漢時代から始まり、元の時代まで続いたとされる。故人と共にすぐに土中に埋められるため、損傷がほとんど無く、点画の鮮明なものが多い。

この墓誌は、北魏の太和二〇年(四九六)の刻で楷書一七行・行一八字。北魏紀年の墓誌中では最も古いもので、早期のものは概して清秀であるが、この墓誌はまた点画の組合せもかなり理智的で、刻もよく筆意を活かしているとされる。元槓は恭宗の第一一子、平城から洛陽への遷都実施に貢献した功績により南安王に封ぜられた。一九二六年、洛陽出土、西安碑林に現存する。

※博：まるくて平らなかわら。

(春濤)

西黔、惠結東氓、景不錫、景儀隆傾、鑾和歌響、惠は東氓に結ぶ。景、錫を錫わず、景儀隆傾す。鑾和、響を歌め、恩惠は東の庶民に施された。天は幸いを与えず、太陽はかたむき落ちた。鑾と和の鈴を付けた車はたづなを取られず、

惠結束 氓旻不錫 嘏景
 儀墜傾 鑾和歌 鑾

恵は東氓に結ぶ。旻、嘏を錫わず、景儀墜傾す。鑾和、轡を歌め、

≪做書参考≫ ※この積文での臨書部門の出品は出来ません。

和安而好敬

わあんにしてけいをこのむ
 和安而好敬（左伝）
 和らぎ、おだやかにして敬いを好む。

10月25日正午必着

教育部毛筆



ゆう
有

き
機

中学一年

雨宮春聲先生書



げき
劇

だん
団

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

しゅっ ばん
出 版

小学五年



横川春川先生書

たい そう
体 操

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



よう

けん

小学三年

藤田幸春先生書



つき

よ

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

や ぎ 小学一年・幼年



森戸春濤書

行 く 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

きらりと光る月明かり	夜つゆにぬれた草花に
------------	------------

小学五年

降り続く雨と強風は	台風のえいきようです
-----------	------------

小学六年

きらめく星を	輝く月は夜空の女王
--------	-----------

中学

実りの秋に忙し	おぼろのこころ存じます
---------	-------------

一般(級位)

鳴けやなげ	蓬が柚のきりぎりす
-------	-----------

鳴けやなげ 鳴 蓬が柚の よもぎ きりぎりす よもぎ 過ぎ行く秋はげにぞかなしき そねのむねたか (曾根好忠)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可) また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

は	ご
を	は
	ん
み	の
が	あ
こ	と
う	は

幼年

ま	く
っ	も
さ	ひ
お	と
な	つ
空	な
	い

小学一年

が	あ
風	き
に	地
ゆ	の
れ	す
る	す
	き

小学二年

赤	夕
と	や
ん	け
ぼ	の
が	空
ま	に
う	

小学三年

秋	の
夜	長
に	虫
た	ち
の	
コ	ー
ラ	ス
が	聞
こ	え
え	ま
す	す

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

夕かぜのわたると見えて
はかなげに
つりはしうごく
草のおくかな

夕かぜのわたると見えて
はかなげに
つりはしうごく
草のおくかな



松永翠舟先生書

夕かぜのわたると見えて
多
はかなげに
者可那希耳
つりはしうごく
利八
草のおくかな
可那
(与謝野晶子)